



平成 27 年度

のしぎくクラブ兵庫助成事業報告書



芦屋市老人クラブ連合会

「みんなで声かけ・会員増強」

平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

加入促進用パンフレットを新しく作成し、市の窓口で転入者に配布してもらうよう依頼。



「芦屋市高齢者の集い」等で配布するなど、会員加入活動を実施。10名以上増加のクラブが7クラブ、全体として188人の新規加入がありました（平成28年1月現在）。会員からは新しいパンフレットで「声かけ」がしやすかったとの声がありました。



加古川市老人クラブ連合会

「老連大学校」

平成 27 年 12 月～平成 28 年 3 月 全 4 回

ひとつひとつの単位クラブが、新しい活動目標のもといきいきと活動できるように老連大学校を開設し、次代を担うリーダーを養成。「老人クラブって？」から始まり、運営の秘訣やコミュニケーションの取り方、行事の組み立て方まで、参加者と交流を深めながら楽しく学びました。参加者からは



「早速帰って友達に教えよう！」「元気をもらった」「参加して良かった」との声が聞こえました。

加西市老人クラブ連合会

『ストップ・ザ解散クラブ復活』

への取り組み

平成 27 年 7 月～平成 28 年 1 月 全 7 回

平成 27 年 7 月に魅力ある老人クラブ検討委員会を発足させ、今後の老人クラブの役割と活動の在り方を検討し、幅広い層からの意見を聴取した答申が出来上がりました。参加者からは「参加し勉強になった」「今後単老の活動に活かしていきたい」などの声かきかれました。



芦屋市サロン・ドゥ・茶屋

「茶屋之町倶楽部 居場所作り」

平成 27 年 4 月～平成 28 年 1 月

原則毎月最後の水曜日

参加者による「自立型居場所」づくりを目指し、毎月最後の水曜日におしゃべりをしながら折り紙やパソコン、エプロンづくり、お手玉作りなどが楽しめる井戸端サロン『茶屋之町倶楽部』を立ち上げました。料理講習会や脳トレなども実施。参加者からは、「楽しく認知症予防になった」「いろんな方と親しくなれた」などの声かかれ、公園等の掃除をしてくれる方が増えるなど地域の活性化にもつながりました。





平成 27 年度

のしぎくクラブ兵庫助成事業報告書



播磨町二子北シニアクラブ
「チャレンジ健康づくり事業」
平成 27 年度（通年で実施）

宍粟市百千家満老人クラブ
「安心・安全の地域づくりのための
会員支え合い事業」
平成 27 年 5 月から平成 28 年 3 月



二子北シニアクラブでは、体力測定やウォーキング等の行事や日常の運動、公園の清掃活動な

どをポイント換算して健康維持を図る「チャレンジ健康づくり」を企画。参加者からは「減点項目があるため飲酒をひかえるようになった」「脳トレになるので頑張った」との声がありました。



百千家満老人クラブは、65名の会員のうち15名が一人暮らしで、夏場の家屋周辺の草刈りや冬季の積雪時の雪かきが、「生活課題」となっており、この課題解決のため、元気な会員がサポーターとして活躍しています。今回の取り組みは、助成金を活用し、元気な若手会員のボランティア活動として、事前に一人暮らし会員と話し合

い、計画しました。一人暮らし会員の「困った」が解決され、支え合いのカタチができました。



朝来市生野町円山区老人会（のぞみ会）
「生野小学校児童の稲作体験学習」（学童農園）
平成 27 年 5 月～12 月



日本の米作りの大切さを学ぶため、生野小学校の3、5年生を対象に田植え・稲刈り・餅つき（収穫祭）・しめ縄づくりまでの一連の米作りを老人クラブ会員が指導し、体験学習を実施しました。

稲刈りでは、刈取りだけでなく、刈取り後の天日干し、雑穀作業等にも取り組みました。



収穫祭では、収穫したもち米で餅つきを行い、幼稚園児から全校学童にも、きなこもちを配りました。しめ縄づくりの後、学童より「来年もお願いします」と言われ、会員も「また、頑張ろう」と活力をもらいました。

